

グラフで見る東海経済 (2020年4月)

2020年4月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している

【今月のポイント】

- 新型コロナ感染拡大に伴う自粛等の影響で、景気は悪化している。
- 本稿のデータは3月及び2月の数値のため、コロナ影響をまだ十分には反映していない。しかし、日銀短観3月調査(東海3県)によると、業況判断DI(良い-悪い、全産業)は、-11と「悪い」超に転じ、設備投資(19年度見込)も前年比+5%と、12月調査から下方修正された。20年度の設備投資はマイナスの見込み。
- 2月の生産は前月比増加したが、水準は低く、コロナ影響で減少傾向が続く見込み。
- 個人消費では、3月の百貨店売上が前年比-36.7%と大幅減。
- 住宅着工も2月に前月比、前年比とも減少となり、弱含んでいる。

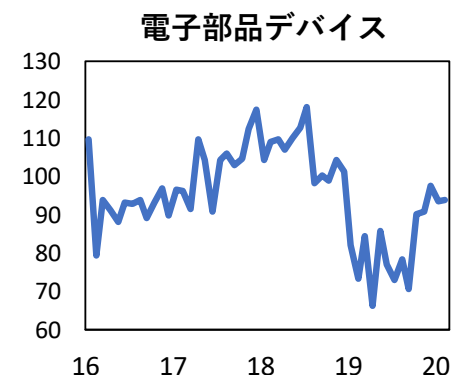
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している
生産	減少している
輸出	弱含んでいる
設備投資	弱含んでいる (↓)
雇用	改善が一服している
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	新型コロナ影響による下押しがみられる
住宅投資	弱含んでいる (↓)
公共投資	増加している

(注)設備投資 は前月の「横ばい圏で推移している」から下方修正

住宅投資 は前月の「横ばい圏で推移」から下方修正

生産

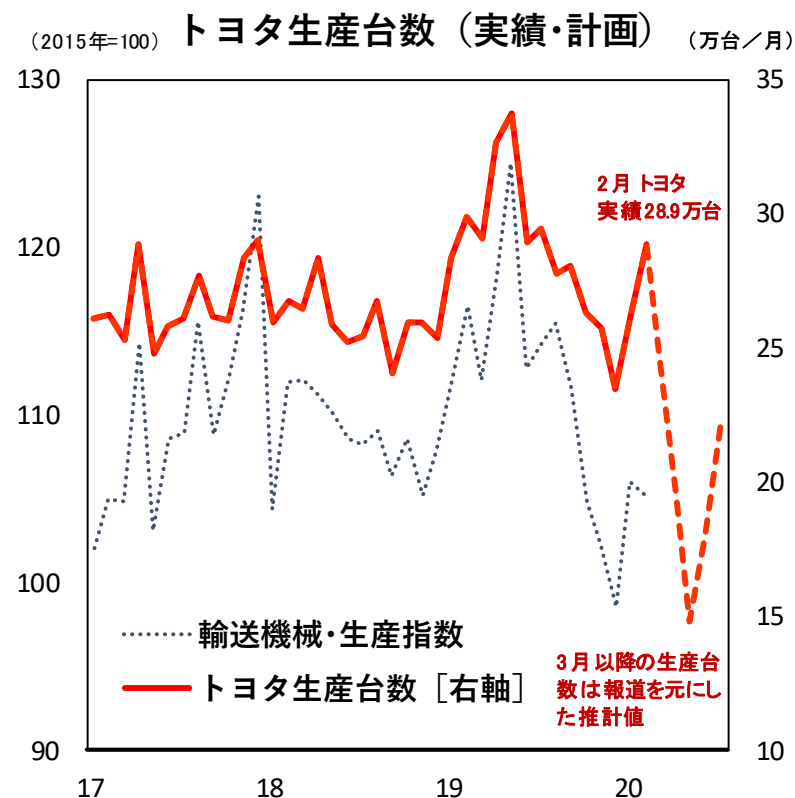
2月の鉱工業生産は前月比で増加したが、水準は低い。輸送、電気などの機械類が減少傾向。コロナ影響による海外需要減、及び一部に供給制約もあり、今後も減少が続く見込み。



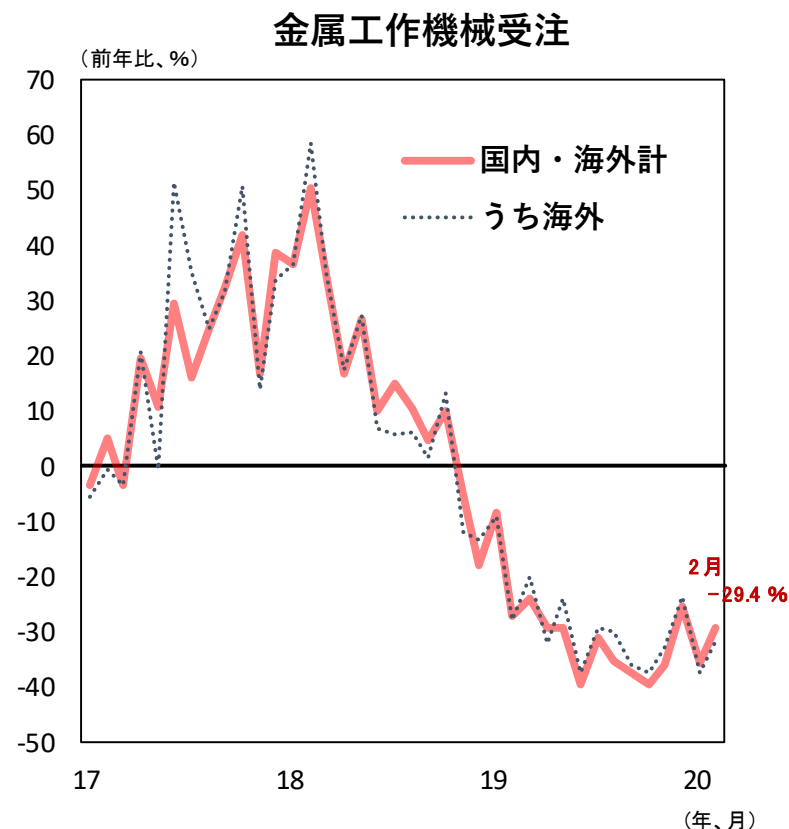
生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

2月のトヨタ生産台数(季節調整値)は28.9万台と前月比で増加。3月以降は新型コロナウイルス感染拡大による生産の一時休止により減少基調となり、5月を底に生産回復を見込む。

金属工作機械受注は前年比3割のマイナスが続き、底打ちは見えず。



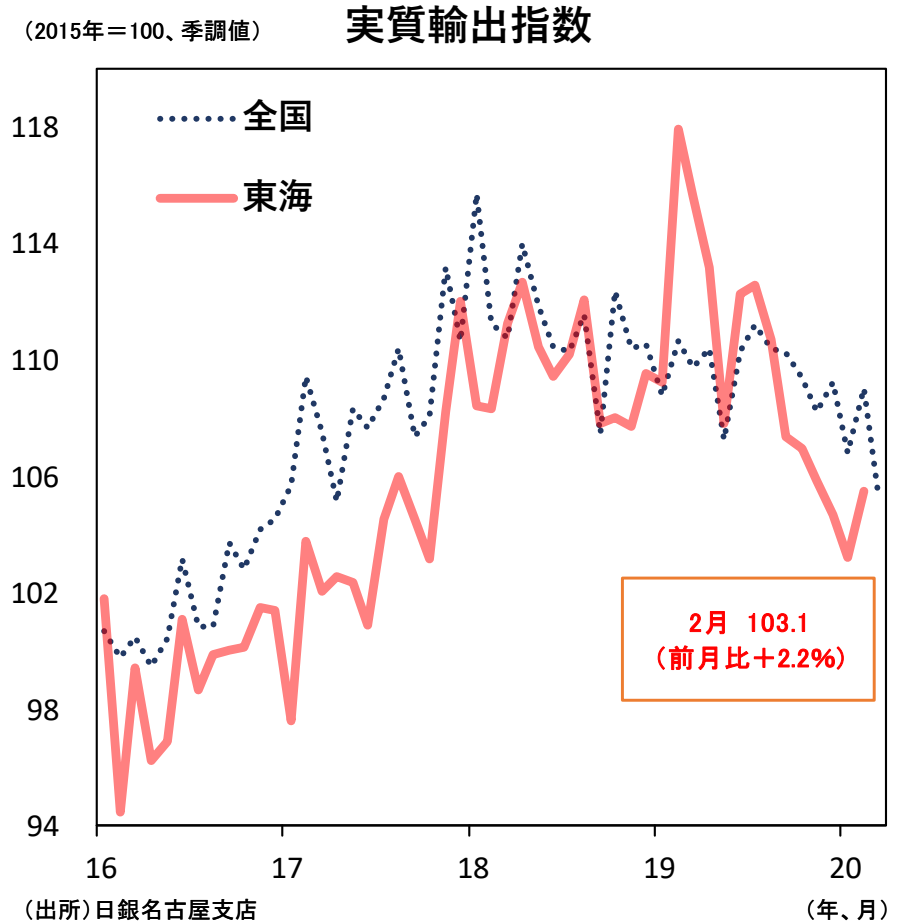
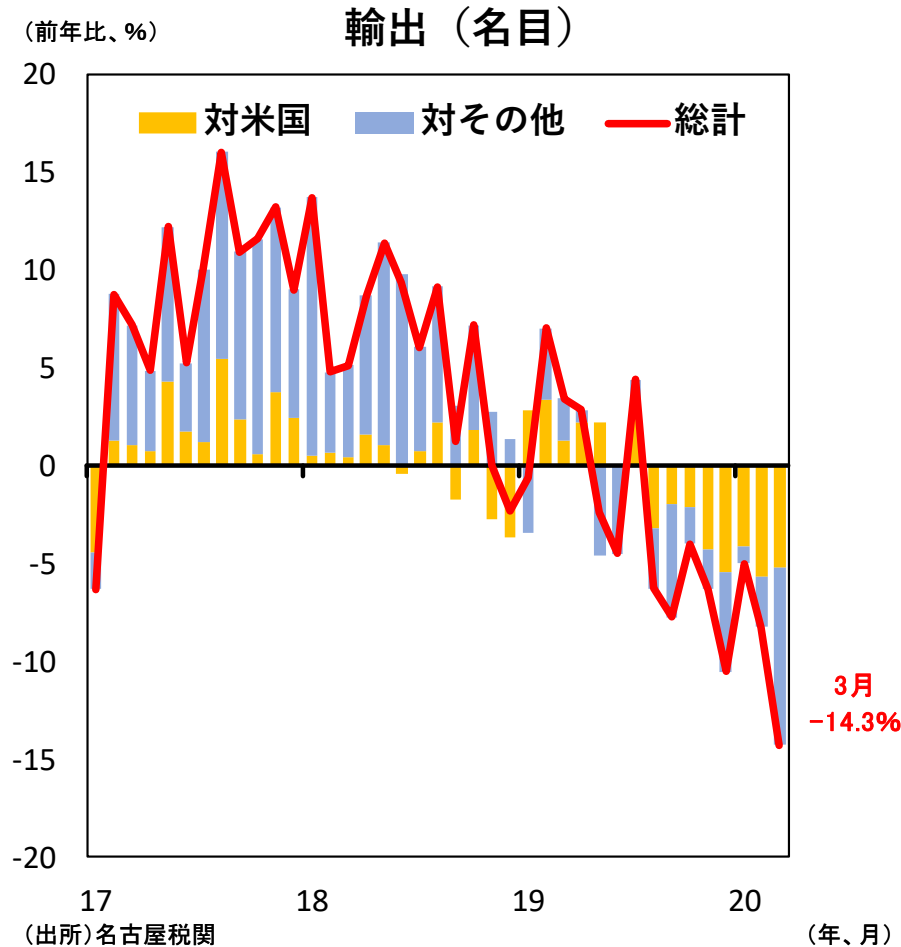
(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
 (出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」



(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

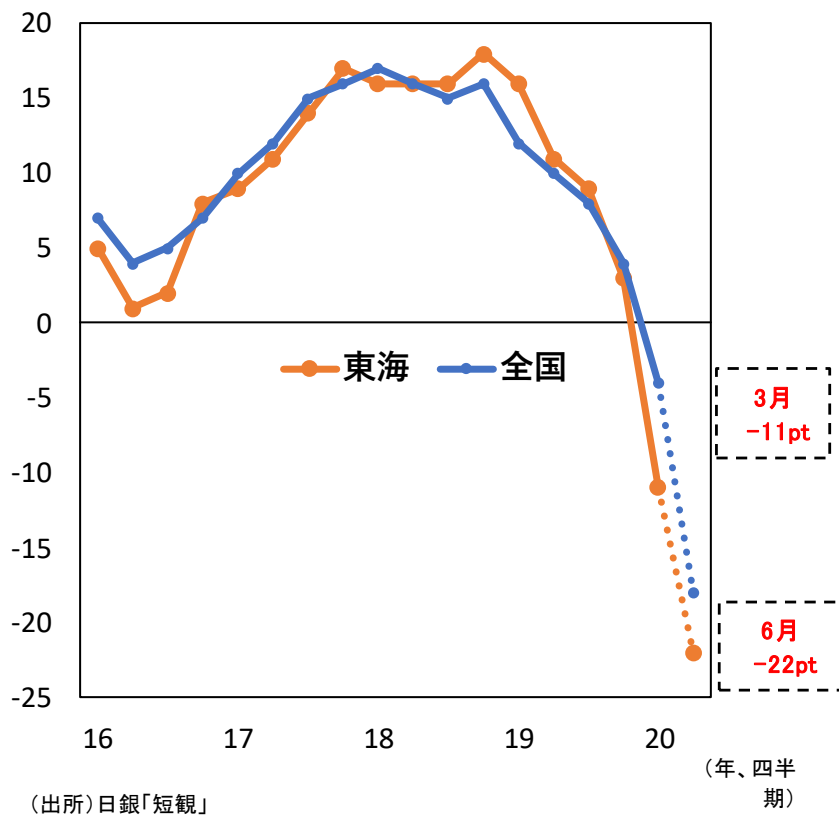
3月の名目輸出額は前年比-14.3%、米国、EU、アジア向けの不振により、前年割れが続く。
2月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+2.2%と小幅増加するも、基調は減少。



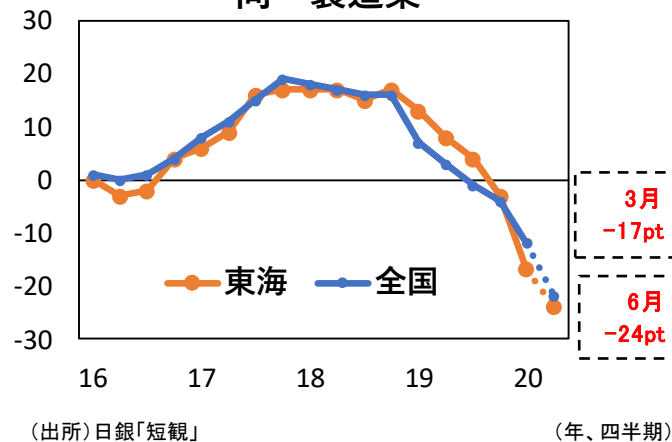
企業景況感(日銀短観)

日銀短観3月の業況判断DIは全産業で-11ptと「悪い」超に。製造業は-17pt、非製造業は-2pt。先行き(6月)については、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。

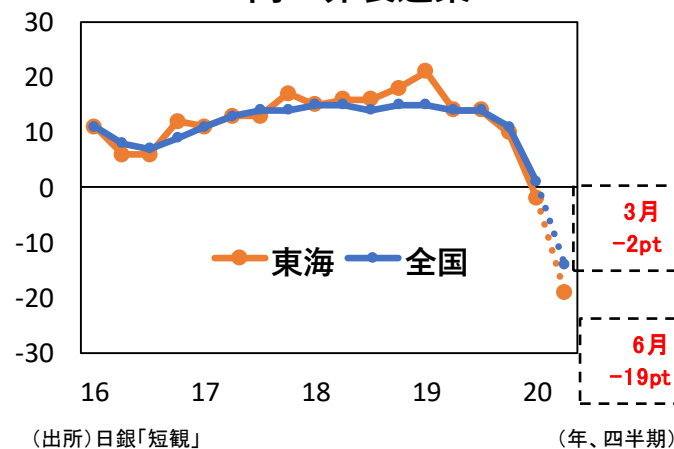
短観 業況判断DI 「全産業」



同 製造業

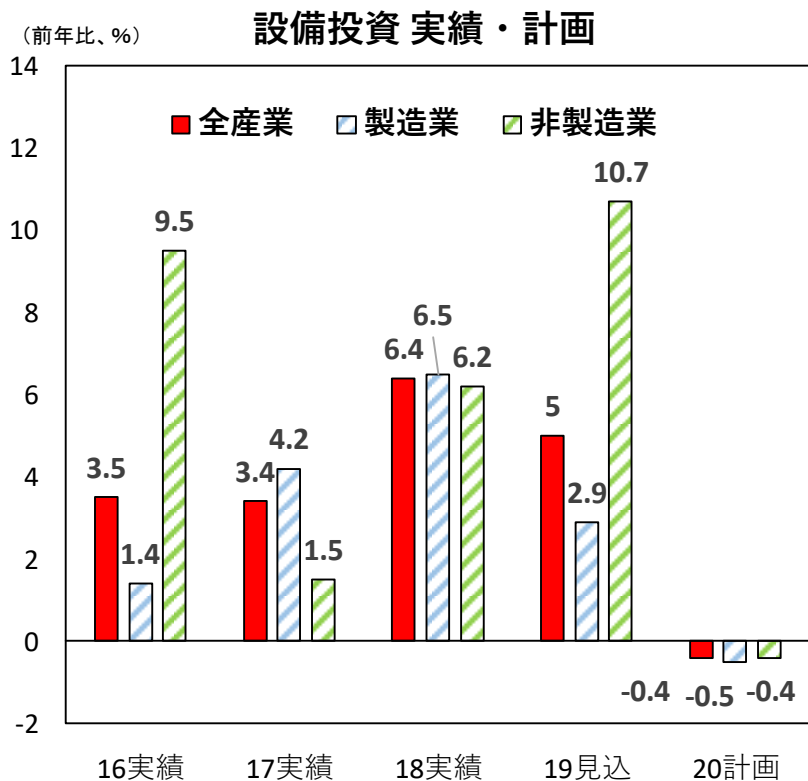


同 非製造業



設備投資

日銀短観3月調査では、19年度の設備投資見込は全産業で前年比+5.0%へ下方修正。20年度については全産業同-0.4%(製造業-0.5%、非製造業-0.4)%といずれも減少する計画。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

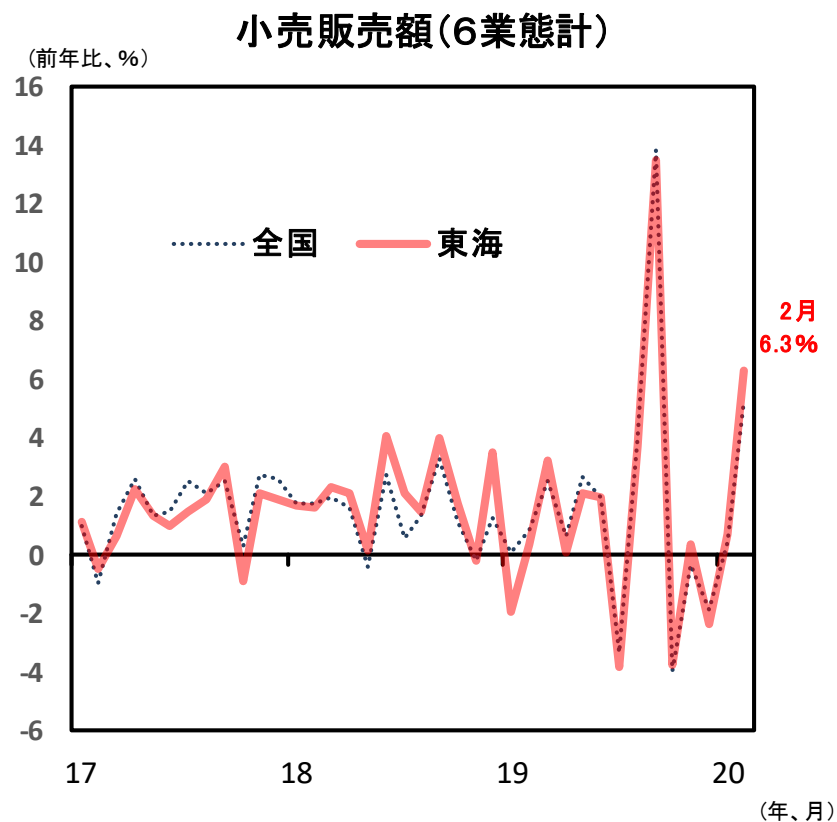
(年度)

設備投資額 (前年比%)

	18年度 実績	19年度 見込		20年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	6.4	5.0	6.6 -1.6	-0.4
製造業	6.5	2.9	4.7 -1.8	-0.5
非製造業	6.2	10.7	11.7 -1.0	-0.4

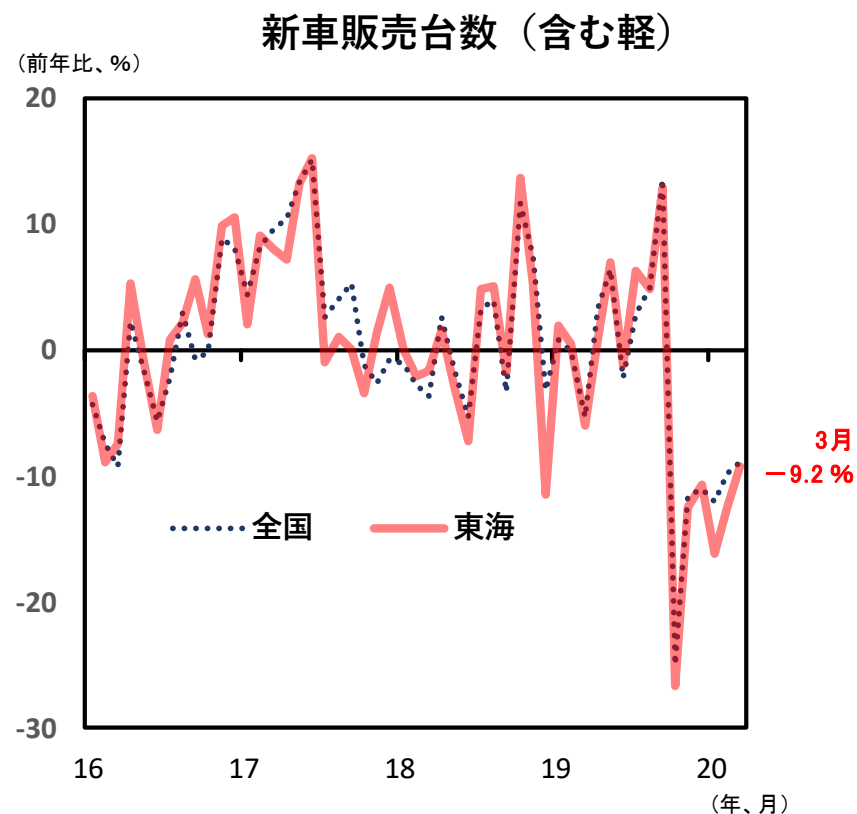
個人消費(小売売上、自動車販売)

小売販売額は2月、前年比+6.3%と増加。うるう年であり、かつ前年より土日祝日が2日多かったことや新型コロナウイルス感染拡大による買いため需要により、スーパー、ドラッグストアの売上が増加した。新車販売は依然低迷(3月は前年比-9.2%)が続いた。



(出所) 商業販売動態統計

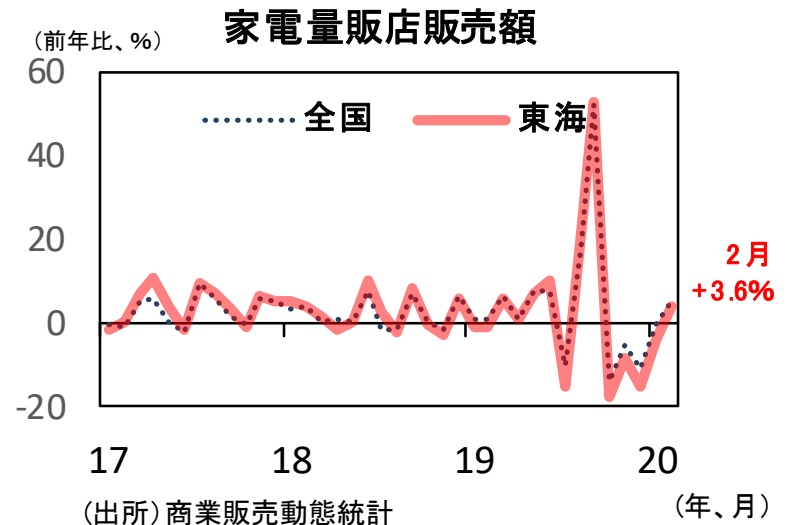
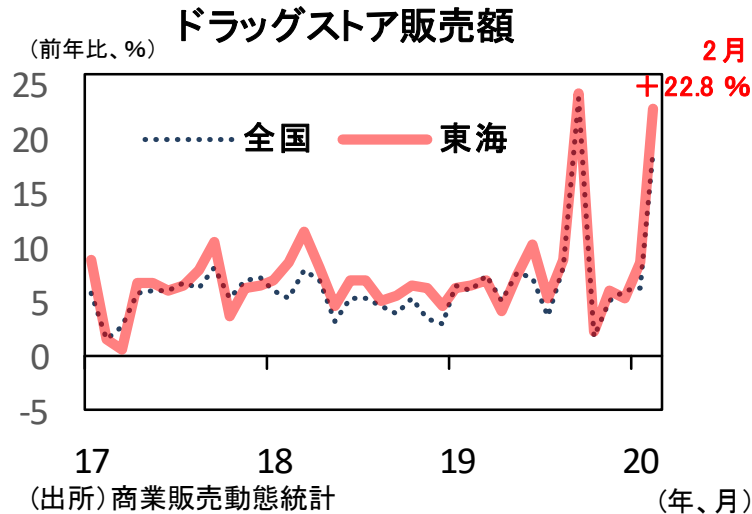
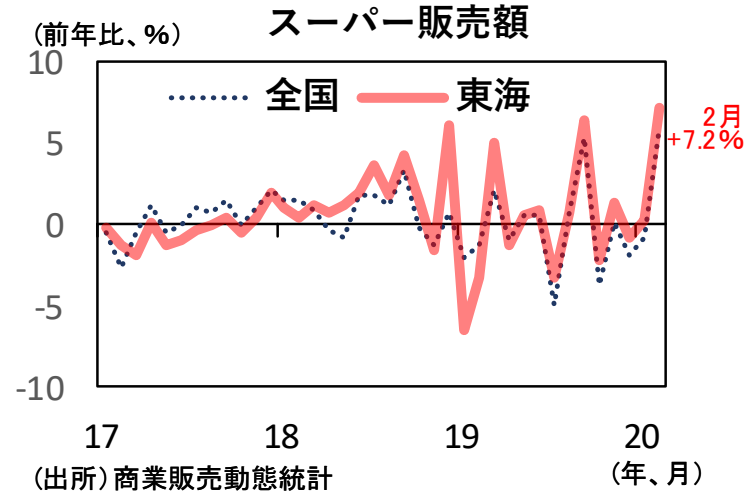
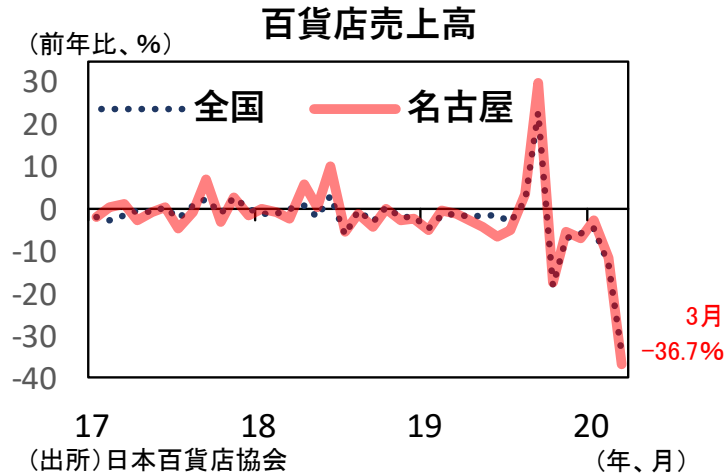
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

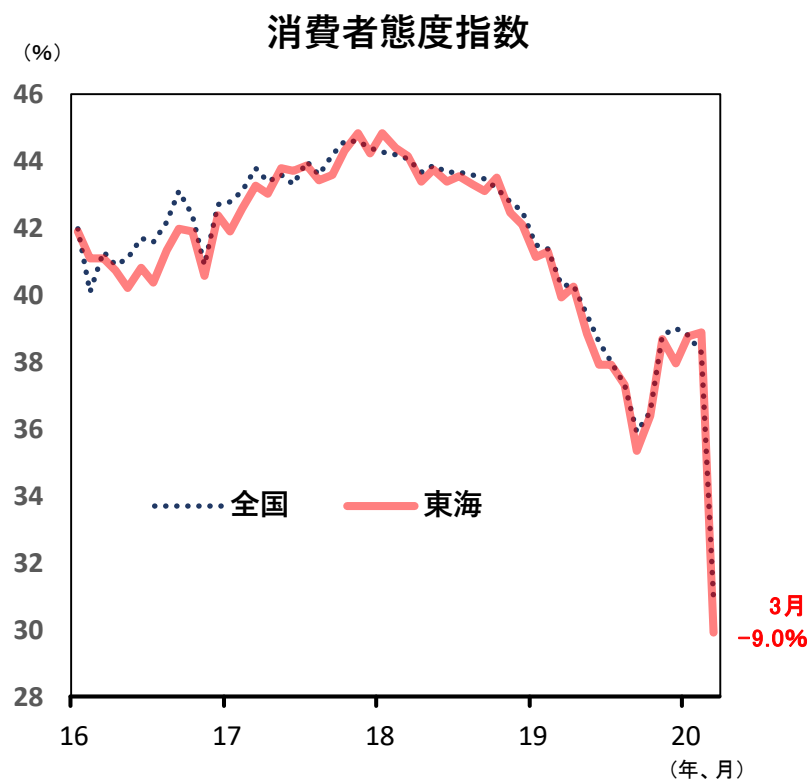
個人消費(業態別)

2月は、スーパー、ドラッグストア、家電販売が前年比で増加。巣ごもり消費が増加に寄与した面もあり。
3月の百貨店販売は、新型コロナウイルス感染症の影響で前年比-36.7%と大幅減。

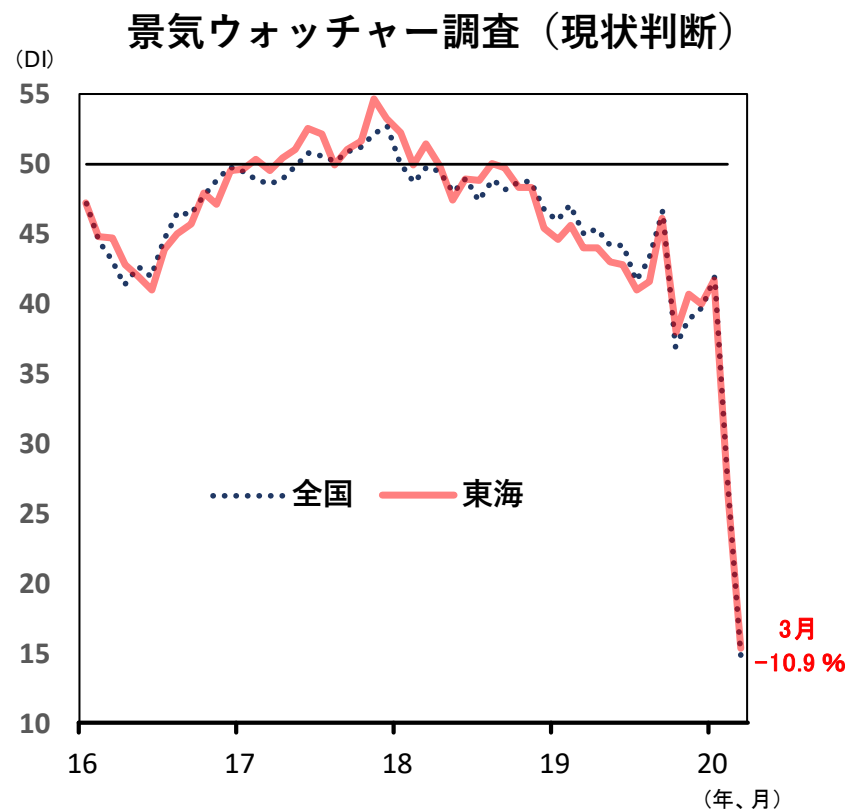


マインド・景況感

3月消費者態度指数(今後半年間の見通し)は3月に29.9(前月差-9.0%pt)と、急速に悪化。
3月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、15.3(同-10.9%pt)と大幅悪化が継続。リーマンショック直後を下回り、数字のとれる2002年1月以来最低の水準となった。



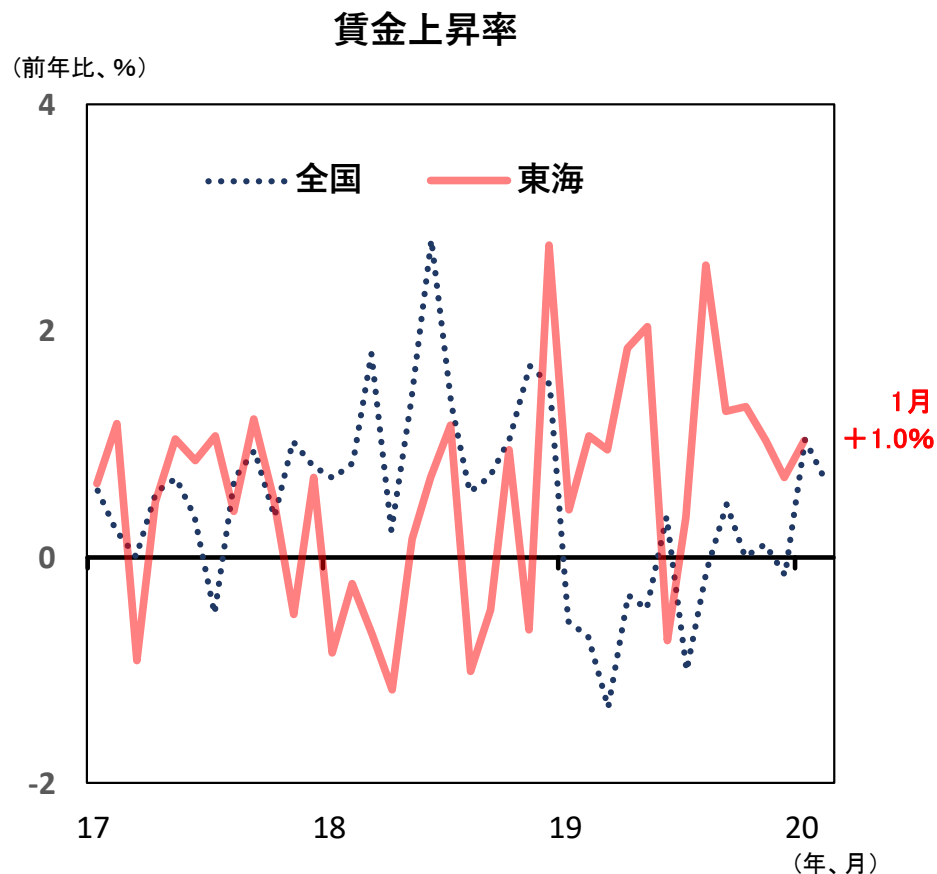
(出所) 内閣府「消費動向調査」



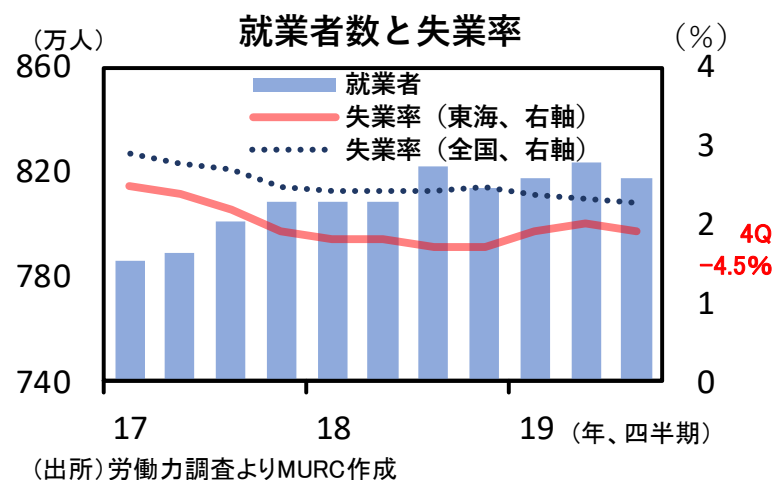
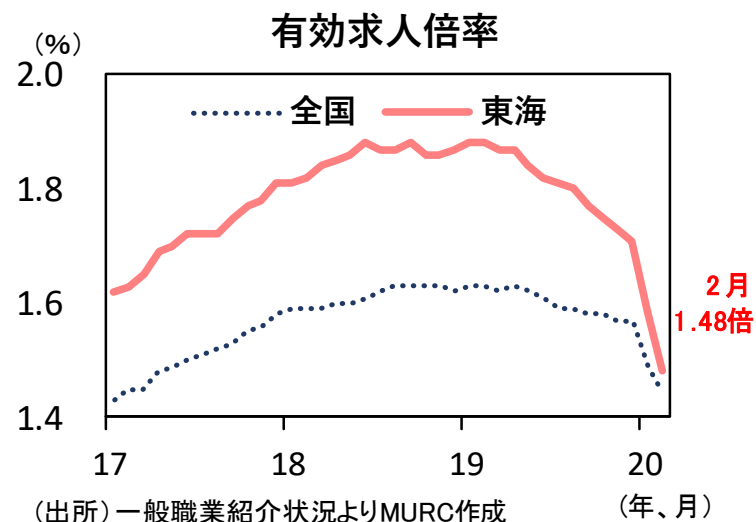
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

1月の名目賃金指数は、前年比+1.0%と前年比プラスが続いた。
一方、2月の求人倍率は低下が続く。就業者数も頭打ち傾向にある。

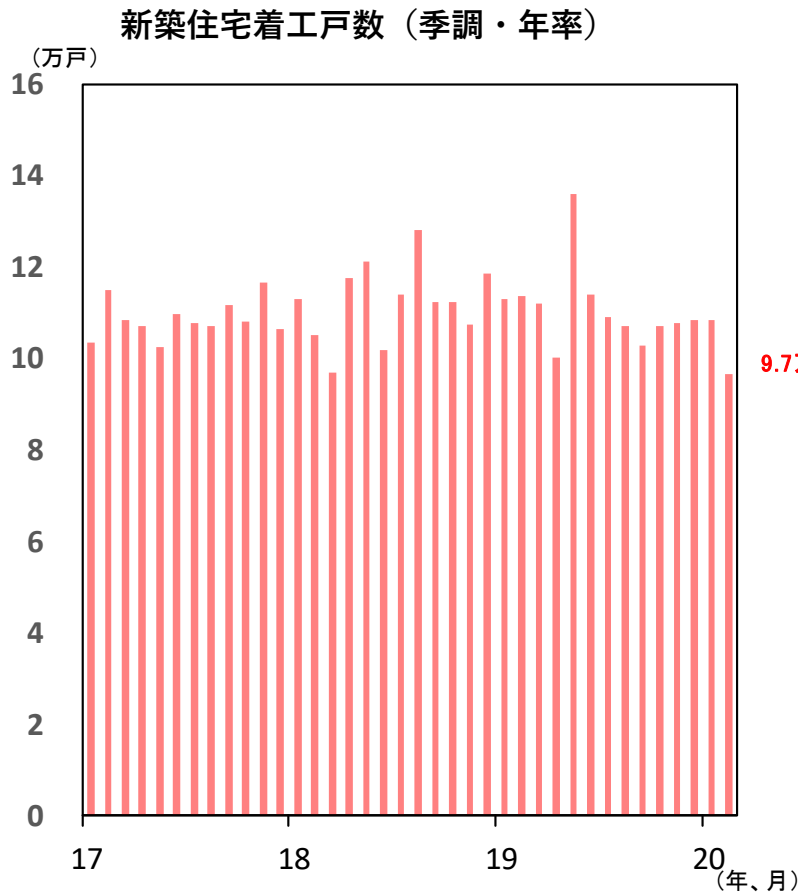


(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

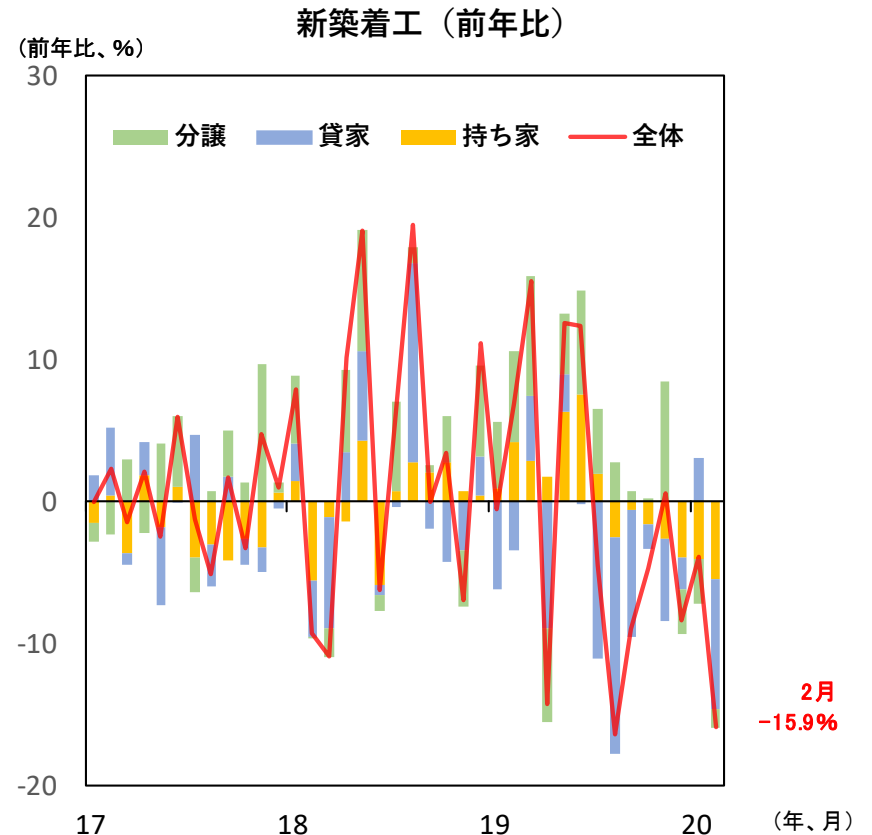


住宅投資

2月の住宅着工は季調・年率9.7万戸となり弱含んでいる。原数値では前年比-15.9%。持家、貸家、分譲が減少。



(出所) 建築着工統計よりMURC作成



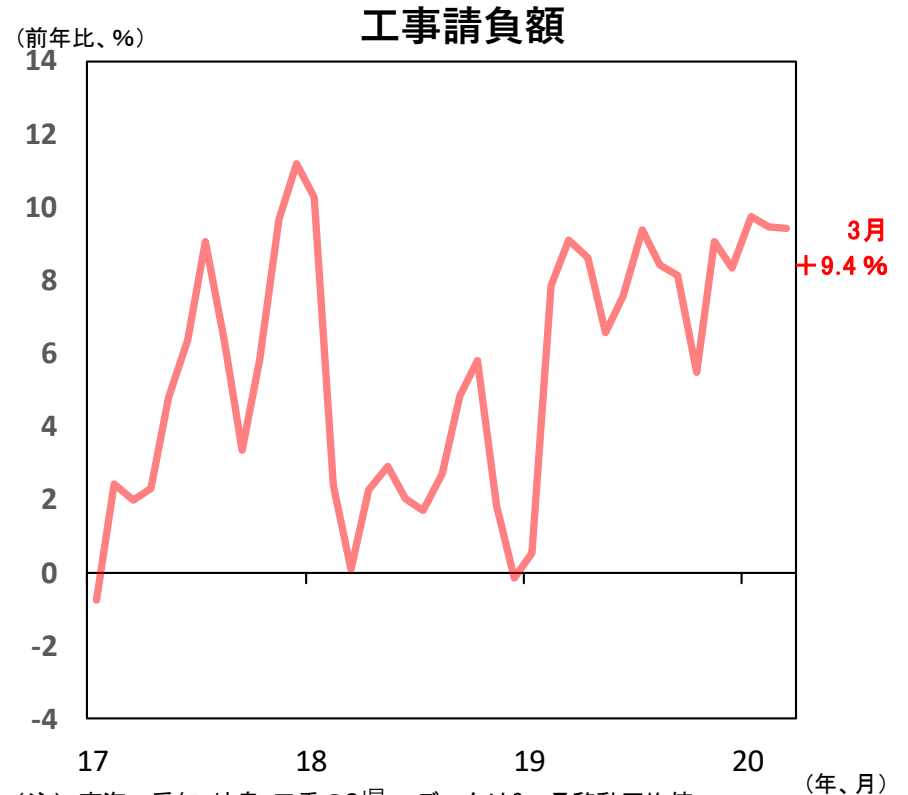
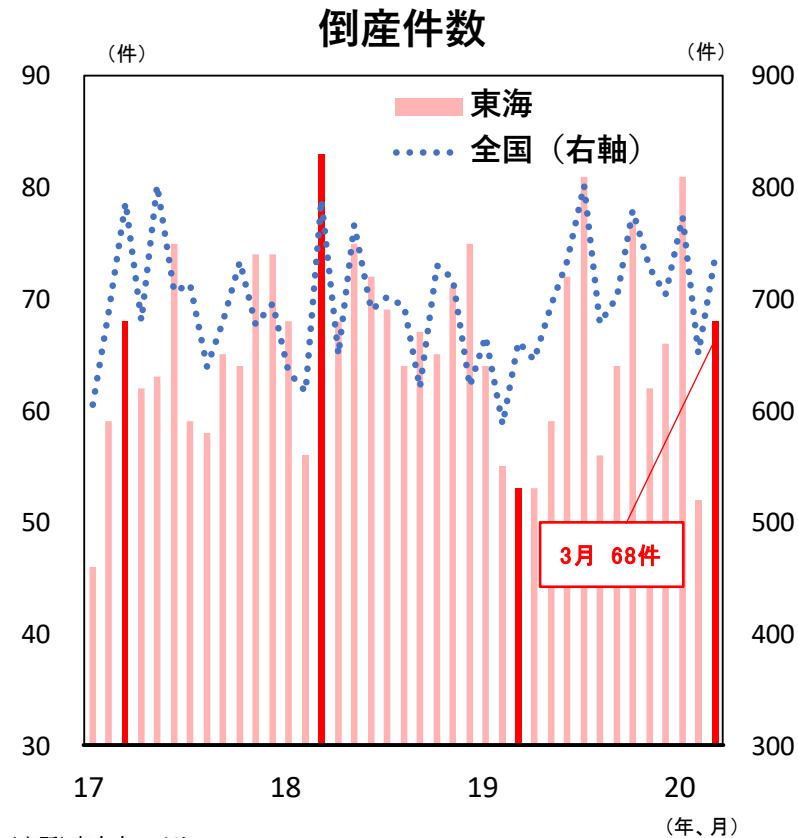
(注) 愛知、三重、岐阜、静岡の合計(出所)「建築着工統計」

倒産

公共投資

コロナ禍で倒産件数の増加が懸念される

公共投資は増加トレンドが続く。



(注) 東海=愛知、岐阜、三重の3県。データは3ヶ月移動平均値。

(出所) 保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください